



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
 コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札  
 TEL 03-6732-7355

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	21,999	3.3	423	46.6	459	52.3	302	56.9
30年3月期第1四半期	21,296	10.9	288	822.4	301	189.8	192	519.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 314百万円 (22.2%) 30年3月期第1四半期 257百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	11.46	
30年3月期第1四半期	7.32	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	47,556	14,401	29.5
30年3月期	51,267	14,359	27.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,037百万円 30年3月期 13,999百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	1.8	900	0.7	900	2.5	600	5.4	22.72
通期	102,000	0.4	2,500	0.1	2,500	1.6	1,600	5.1	302.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成31年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	26,628,000 株	30年3月期	26,628,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	215,260 株	30年3月期	223,649 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	26,409,074 株	30年3月期1Q	26,334,629 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成30年5月15日に公表しました業績予想に変更はございません。  
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当社は、平成30年6月28日開催の第75期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成31年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。  
・平成31年3月期の配当予想(1株当たり期末配当金) : 11円00銭  
・平成31年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益) : 通期 60円60銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しましたが、原材料費や人件費の上昇、米国発の貿易摩擦問題等が懸念材料となり、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは平成30年4月より新たな中期経営計画“ブラッシュアップ120”～磨きをかけて一歩先へ一段高く！～をスタート致しました。創業120年に向けて持続的成長と企業価値向上のため、中期経営計画に掲げた基本戦略を着実に実行してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は219億99百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は4億23百万円（前年同期比46.6%増）、経常利益は4億59百万円（前年同期比52.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## (電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連において半導体関連装置向けのFA機器製品やレーザ加工機等の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は56億47百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は2億12百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

## (機械関連事業)

機械関連事業では、農業施設における食品加工施設等、産業機械における冷菓製造設備等の受渡しが堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は17億78百万円（前年同期比32.8%減）、セグメント利益は30百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

## (建材・燃料関連事業)

建材関連事業では、建築資材において外壁材や杭工事等の受渡しが順調に推移し、燃料関連事業では、ガソリン等の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は92億56百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益は77百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

## (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、鋼材・木材等建築関係貨物の取扱いが順調に推移しました。

以上の結果、売上高は44億59百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は96百万円（前年同期比128.6%増）となりました。

## (建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、都市部を中心とした再開発工事等が堅調であり、コンクリートポンプ車の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は8億58百万円（前年同期比54.7%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期はセグメント損失19百万円）となりました。

なお、当社の連結業績は官公庁向け及び一般民需物件ともに第2四半期以降に売上が集中するため、四半期別の業績には季節の変動があり、第1四半期の利益は低水準になる傾向にあります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は475億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億11百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少43億83百万円、流動資産「その他」に含まれる前渡金の増加9億44百万円であります。

負債は331億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億53百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少37億19百万円であります。

純資産は144億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて42百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.2ポイント増加し、29.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました内容から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,335	9,479
受取手形及び売掛金	25,410	21,027
商品及び製品	1,099	771
原材料及び貯蔵品	32	30
その他	1,901	2,904
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	37,773	34,207
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,385	5,385
その他(純額)	2,819	2,751
有形固定資産合計	8,204	8,136
無形固定資産		
	273	265
投資その他の資産		
その他	5,022	4,952
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,016	4,946
固定資産合計	13,493	13,348
資産合計	51,267	47,556

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,807	23,087
短期借入金	1,550	1,400
1年内返済予定の長期借入金	933	820
未払法人税等	566	58
賞与引当金	390	85
その他	2,437	3,619
流動負債合計	32,685	29,071
固定負債		
長期借入金	997	832
特別修繕引当金	54	61
退職給付に係る負債	1,088	1,100
その他	2,081	2,088
固定負債合計	4,222	4,082
負債合計	36,908	33,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	9,477	9,510
自己株式	△61	△59
株主資本合計	13,058	13,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	563
繰延ヘッジ損益	△1	△0
退職給付に係る調整累計額	384	379
その他の包括利益累計額合計	941	943
非支配株主持分	359	363
純資産合計	14,359	14,401
負債純資産合計	51,267	47,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	21,296	21,999
売上原価	19,125	19,674
売上総利益	2,170	2,325
販売費及び一般管理費	1,882	1,902
営業利益	288	423
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	29	31
受取賃貸料	15	15
持分法による投資利益	2	6
その他	5	14
営業外収益合計	55	69
営業外費用		
支払利息	24	17
その他	16	16
営業外費用合計	41	33
経常利益	301	459
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	301	461
法人税、住民税及び事業税	0	29
法人税等調整額	104	118
法人税等合計	105	148
四半期純利益	196	312
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	192	302



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	196	312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	4
繰延ヘッジ損益	0	1
退職給付に係る調整額	7	△4
その他の包括利益合計	60	1
四半期包括利益	257	314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253	304
非支配株主に係る四半期包括利益	4	9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,989	2,646	7,934	4,171	554	21,296	—	21,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	115	5	—	133	△133	—
計	6,001	2,646	8,049	4,176	554	21,429	△133	21,296
セグメント利益又は セグメント損失(△)	245	54	△15	42	△19	306	△18	288

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△20百万円、セグメント間取引消去額2百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,647	1,778	9,256	4,459	858	21,999	—	21,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	127	3	—	144	△144	—
計	5,660	1,778	9,384	4,463	858	22,144	△144	21,999
セグメント利益	212	30	77	96	20	437	△14	423

(注)1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△15百万円、セグメント間取引消去額1百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。